

## 沖縄8 それぞれのがんの特性に応じた対策（希少がん・難治がん）

施策				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

沖縄県は、第7時医療計画に基づき専門的医療機関の選定を行い、2年ごとに更新を行う

専門医療機関の選定の改訂数			1	NA
---------------	--	--	---	----

全ての医療機関は、難治がん患者を、上述の専門的医療機関の選定に基づいて、適切な医療機関に紹介する

(院内がん登録) 専門医療機関に紹介された希少がん患者の割合				NA
--------------------------------	--	--	--	----

全ての医療機関は、希少がん患者を県拠点病院に紹介する

(院内がん登録) 県拠点病院を紹介された希少がん患者の割合				NA
-------------------------------	--	--	--	----

県拠点病院は、希少がん毎の専門家を招いて、県内の希少がん医療が適切に機能しているかを評価する

毎年評価をしている希少がんの数				NA
-----------------	--	--	--	----

全ての専門医療機関は、難治性がんに関するQI評価を行い、毎年フィードバックを行い、医療の質の向上に努める

QI評価をしている専門医療機関の割合				NA
--------------------	--	--	--	----

全ての医療機関は、希少がん患者を県拠点病院のがん相談支援センターを紹介し、必要な情報提供を受けられるようにする

\*希少がん・難治がんに対する情報提供（を、情報提供・相談支援部会が中心となり、すべての専門医療機関において、過不足なく行うシステムを確立する）

中間アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

希少がんや難治がんの患者が適切な医療機関に集約され、適切な医療を受けられる体制が整っている

	治療や臨床試験に参加した希少がん患者および難治がん患者の数			
院内がん登録	拠点病院や専門的医療機関で治療を受けた希少がん患者および難治がん患者の割合			
患者体験調査 (%) (2018年)	成人間20-8 専門的な治療を受けた希少がん患者の割合	全体 78.7 希少 80.0	全体 87.2 希少 NA	NA
	成人間10 確定診断までに1か月未満の希少がん患者の割合	全体 71.5 希少 66.4	全体 72.7 希少 NA	NA
	成人間11 確定診断から治療開始まで1か月未満の希少がん患者の割合	全体 62.2 希少 72.3	全体 66.4 希少 NA	NA

患者やその家族が、必要十分な情報提供を受けられ、適切な相談支援を受けられる体制が整っている

患者体験調査 (%) (2018年)	成人間15-1 治療決定前に十分な情報があつた希少患者の割合	全体 75.0 希少 75.7	全体 71.4 希少 NA	NA
	成人間15-2 納得いく治療を選択できた希少がん患者の割合	全体 79.0 希少 81.4	全体 79.3 希少 NA	NA

最終アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

希少がんおよび難治性がん患者が適切な医療を受けられている

地域がん登録	希少がんの5年相対生存率			NA
	難治がんの5年相対生存率			NA

希少がんおよび難治性がん患者がQOLを保ちながら安心して生活が送れている

患者体験調査 (%) (2018年)	成人間20-10 受けた治療に納得している希少がん患者の割合	全体 77.3 希少 77.5	全体 85.4 希少 NA	NA
	成人間35-7 自分らしい日常生活を送れている希少がん患者の割合	全体 70.5 希少 69.2	全体 78.3 希少 NA	NA

\*希少がん・難治がんに対するオンラインでのセカンドオピニオン（を、すべての専門医療機関が行う）

成人間20-1 治療スケジュールに見通しが持てた希少がん患者の割合	全体	全体	NA
	75.1	83.3	
	希少	希少	
	75.7	NA	